子ども公民館記者による新聞ができました

この夏に小・中学生を対象に実施した講座「夏休み！公民館で新聞づくり体験」から２人の「子ども公民館記者」が誕生し「ウエルカム！！公民館新聞」ができました。宮崎寧（みやざきねい）さん（一小６年）、近藤優香（こんどうゆうか）さん（五小４年）が見た「公民館」ってどんなところなのでしょう？

▲公民館長もインタビューに緊張？

インタビューは緊張したけれど、館長のことや公民館のことがいろいろ分かりました。楽しかったです。（宮崎）

▲うどんサークルを体験取材

うどんの作り方など、いろいろ教えてもらって楽しかったです。簡単そうに見えたけれど、実際に作るとむずかしかったです。（近藤）

平成28年 12月 15日　ウェルカム!!公民館　新聞

ウェルカム!!公民館新聞

発行 平成28年 12月 15日

宮崎 寧
近藤 優香

館長インタビュー 行ってきました

「公民館へおいでよ!!」公民館。そんなところなのかな？気になるけど入る勇気がでないミ、でも大丈夫!!公民館はやさしい館長や職員の方々がいる、市民の集まる建物です。

今年リニューアルした談話室はピンクのゆめの明るい部屋です。トイレも洋式を作ったり、どんどん進化する公民館。それらは市民の人たちが公民館へ来てほしいという、館長と職員の方々の思いなのです。

「おち。めなさんは言います。

館長」中央公民館館長佐藤早苗さん。女性の館長は佐藤さんで2人目です。佐藤さんは毎日、自分に何ができることはないかと考えているそうです。公民館に来た人たちと一日中お話をすることもあるそうです。公民館にたくさん人が来てくれることが宝物だと佐藤さんは言います。

時間があると、いろいろな講座にも顔を出しているそうです。

中央公民館 子ども記者になって

公民館は50周年。館長さんや職員の方々は、公民館を今よりも、と市民がいっぱい来てくれる場所にしたい

と思いながら仕事をしています。

ぜひ公民館に来てください!!（宮崎記）

ぜひ来てね

わたしは、新聞作り体験で、日野駅の近くのケーキ屋さんに行きました。はじめは、何を書けばいいか分かりませんでした。

子ども記者になって取材をしたなかで一番楽しかったのもおいしかったのもおいしかったのもおいし